

津市こどもまんなか社会実現会議

こども会議

大きなテーマ『幸せに暮らせるまちってどんなまち?』

小学5年生から高校3年生のこども会議メンバーが、
2グループに分かれて話し合いました。

みすぎんチーム

グループテーマ「人との交流」

(目的)世代間で交流できるようにする、日常的に挨拶などで会話やコミュニケーションができる、自分のまちに自信が持てる



(そのために)交流できる場所を作る

ボランティア、フリーマーケット、空き家の活用、お年寄りの方が若い人に色々な昔のことを教えてくれる場をつくる、挨拶から最初始めるのは難しいから遊びで交流、こどもだけで修学旅行 など



(そうすると)まちが発展する、明るいまちになる、知識の交流、ずっと続くまち・終わらないまちになる、一人ひとりが生きるまちになる

シロモチくんチーム

グループテーマ「学校(教育)の充実」

(目的)リーダーにもサポートにもなれる人を育む



(そのために)学校の授業を超えた学び
市や学校がサポートして、こどもが“生”の体験や学びができるようにする

(そうすると)体験することで人の想いを知ったり、自分なりに考えたり、挑戦したりして主体的に学ぶことができる、地域を好きになる、問題意識をもって自らやってみようと思える



人が育つ、リーダーにもサポートにもなれる人を津市から生み出していく

こども会議からの意見を整理してみると…

グループのテーマは違いましたが、つながるところがありました!

- ・交流できる場
- ・世代間の交流
- ・あるものの活用
- ・こども主体の取組



- ・授業外の学び
- ・体験
- ・おとなのサポート
- ・挑戦してみる



こどもが企画から実行までを行う
イベント(取組)をやってみよう



※おとなのサポート有